



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 日本軽金属ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5703 URL <https://www.nikkeikinholdings.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 一郎

問合せ先責任者 (役職名) 企画統括室 広報・IR担当 (氏名) 石川 千津

TEL 03-5461-8677

四半期報告書提出予定日 2019年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	114,189	6.9	4,608	34.4	4,633	35.5	3,008	36.9
2019年3月期第1四半期	122,695	10.1	7,021	0.5	7,183	11.7	4,766	19.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,405百万円 (47.9%) 2019年3月期第1四半期 4,614百万円 (13.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	4.86	
2019年3月期第1四半期	7.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	474,722	201,353	39.4	301.96
2019年3月期	481,303	202,735	39.0	303.37

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 186,980百万円 2019年3月期 187,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		4.00		5.00	9.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		4.00		5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,000	4.2	11,000	22.5	10,500	28.4	7,000	30.9	11.30
通期	500,000	0.1	29,000	3.5	28,500	8.3	18,500	10.0	29.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	619,937,500 株	2019年3月期	619,937,500 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	721,404 株	2019年3月期	720,629 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	619,216,403 株	2019年3月期1Q	619,222,540 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	ページ
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
（継続企業の前提に関する注記）	10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	10
（セグメント情報等）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の通商政策を巡る貿易面への影響や中国経済の成長の減速など先行きに対する不透明感が強まりました。わが国でも、これら世界経済の変動の影響により、輸出や生産において弱含みな状況が継続しています。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、トラック関連をはじめ需要が堅調な分野もありましたが、半導体関連や中国での景気減速の影響により板製品部門や押出製品部門で販売が減少したほか、二次合金分野やパネルシステム部門などでも前年同期を下回りました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期の1,226億95百万円に比べ85億6百万円(6.9%)減の1,141億89百万円となり、営業利益は前年同期の70億21百万円から24億13百万円(34.4%)減の46億8百万円、経常利益は前年同期の71億83百万円から25億50百万円(35.5%)減の46億33百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の47億66百万円から17億58百万円(36.9%)減の30億8百万円となりました。

なお、当社グループでは、2020年3月期を初年度とする3ヵ年の新しい中期経営計画をスタートさせ、①新商品・新ビジネスの創出、②成長に向けた資源投入、③経営基盤強化を基本方針とし、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図ってまいります。

各セグメント別の概況は次のとおりです。

【アルミナ・化成品、地金】

アルミナ・化成品部門におきましては、化学品関連で、凝集剤、有機塩化物の販売が増加しましたが、主力の水酸化アルミニウムおよびアルミナ関連において、耐火物向けなどで需要が減少したことにより、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。採算面でも製品価格改定の効果があったものの、販売量減少の影響により、前年同期に比べ減益となりました。

地金部門におきましては、主力の自動車向け二次合金分野において、国内、海外ともに需要が減少したことに加え、中国製品流入の影響もあり、販売量は前年同期を下回りました。採算面でも、販売量減少に加え、燃料費上昇の影響もあり、前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のアルミナ・化成品、地金セグメントの売上高は前年同期の307億95百万円に比べ37億26百万円(12.1%)減の270億69百万円、営業利益は前年同期の31億67百万円から1億67百万円(5.3%)減の30億円となりました。

【板、押出製品】

板製品部門におきましては、半導体・液晶製造装置向け厚板の販売量が大幅に減少したことに加え、アルミニウム地金市況を反映した販売価格の下落により、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

押出製品部門におきましては、環境対応車向けの新商品など好調な分野もありましたが、半導体製造装置向けなど産業機器関連および自動車関連の販売減の影響が大きく、売上高は前年同期を下回り、採算面でも前年同期に比べ減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の板、押出製品セグメントの売上高は前年同期の266億86百万円に比べ13億93百万円(5.2%)減の252億93百万円、営業利益は前年同期の16

億 77 百万円から 12 億 79 百万円 (76.3%) 減の 3 億 98 百万円となりました。

【加工製品、関連事業】

輸送関連部門におきましては、トラック架装事業は、排ガス規制に伴う駆け込み需要の影響により小型トラック向けの販売が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同期並みとなりました。採算面では生産性向上の効果や材料価格の下落などにより、増益となりました。

パネルシステム部門におきましては、冷凍・冷蔵分野で食品加工工場向けの、クリーンルーム分野で医薬・バイオ向けの需要が堅調であったものの、建設業界での部品不足による工期の遅れの発生などにより、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の加工製品、関連事業セグメントの売上高は前年同期の 417 億 81 百万円に比べ 27 億 45 百万円 (6.6%) 減の 390 億 36 百万円、営業利益は前年同期の 20 億 72 百万円から 7 億 8 百万円 (34.2%) 減の 13 億 64 百万円となりました。

【箔、粉末製品】

箔部門におきましては、医薬向け加工箔は前年同期を上回る販売となりましたが、リチウムイオン電池外装用箔や正極材用箔の販売量は中国における電機・電子関連製品での生産調整の影響を受けて減少し、箔部門全体での売上高は前年同期を下回りました。

パウダー・ペースト部門におきましては、ペースト製品はグラビア印刷用インキなどの高付加価値品は堅調な販売であったものの主力の自動車塗料向けの販売低迷が継続し、粉末製品は放熱用途の電子材アルミパウダーや窒化アルミニウムが在庫調整局面となったこともあり、売上高は前年同期を下回りました。

ソーラー部門におきましては、太陽電池用機能性インキの販売は堅調であるものの、太陽電池用バックシートは中国政府の太陽光発電設備導入に関する支援策見直しの影響や価格競争激化の環境が続いていることから、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の箔、粉末製品セグメントの売上高は前年同期の 234 億 33 百万円に比べ 6 億 42 百万円 (2.7%) 減の 227 億 91 百万円、営業利益は前年同期の 10 億 28 百万円から 2 億 71 百万円 (26.4%) 減の 7 億 57 百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前期末と比べて 65 億 81 百万円減の 4,747 億 22 百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前期末と比べて 51 億 99 百万円減の 2,733 億 69 百万円となりました。純資産合計は、非支配株主持分や為替換算調整勘定の減少などにより、前期末と比べて 13 億 82 百万円減の 2,013 億 53 百万円となりました。なお、自己資本比率は前期末の 39.0%から 39.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	245,000	13,000	12,500	8,500	13.73
今回修正予想（B）	235,000	11,000	10,500	7,000	11.30
増減額（B－A）	△10,000	△2,000	△2,000	△1,500	－
増減率（％）	△4.1	△15.4	△16.0	△17.6	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （2019年（平成31年）3月期 第2四半期）	245,336	14,186	14,674	10,129	16.36

2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	510,000	31,000	30,500	20,000	32.30
今回修正予想（B）	500,000	29,000	28,500	18,500	29.88
増減額（B－A）	△10,000	△2,000	△2,000	△1,500	－
増減率（％）	△2.0	△6.5	△6.6	△7.5	－
（ご参考）前期実績 （2019年（平成31年）3月期）	500,451	30,052	31,084	20,560	33.20

修正の理由

半導体関連や中国での景気減速の影響などが当第2四半期会計期間においても板製品部門や押出製品部門などで続くと見込まれることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する四半期（当期）純利益を修正いたしました。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（IFRS 第 16 号「リース」の適用）

国際財務報告基準（IFRS）を適用している在外連結子会社において、当第 1 四半期連結会計期間の期首から IFRS 第 16 号「リース」を適用し、借手の会計処理として原則すべてのリースについて四半期連結貸借対照表に資産及び負債を計上しております。

当該会計基準の適用にあたり、経過措置として認められている当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,417	33,286
受取手形及び売掛金	152,681	141,773
商品及び製品	30,453	31,246
仕掛品	19,105	21,911
原材料及び貯蔵品	22,231	20,179
その他	9,848	13,195
貸倒引当金	△497	△526
流動資産合計	267,238	261,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,994	51,963
機械装置及び運搬具（純額）	44,164	47,573
工具、器具及び備品（純額）	4,724	5,028
土地	54,663	54,649
建設仮勘定	15,023	6,207
有形固定資産合計	164,568	165,420
無形固定資産		
のれん	1,999	1,888
その他	3,555	3,486
無形固定資産合計	5,554	5,374
投資その他の資産		
その他	44,165	43,081
貸倒引当金	△222	△217
投資その他の資産合計	43,943	42,864
固定資産合計	214,065	213,658
資産合計	481,303	474,722

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	76,244	71,972
短期借入金	69,907	71,265
未払法人税等	3,422	2,015
その他	34,791	34,799
流動負債合計	184,364	180,051
固定負債		
社債	666	647
長期借入金	68,997	67,784
退職給付に係る負債	19,741	19,757
その他	4,800	5,130
固定負債合計	94,204	93,318
負債合計	278,568	273,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	46,525	46,525
資本剰余金	19,500	19,500
利益剰余金	117,206	117,117
自己株式	△68	△69
株主資本合計	183,163	183,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,322	3,006
繰延ヘッジ損益	△9	△90
土地再評価差額金	145	145
為替換算調整勘定	2,434	1,995
退職給付に係る調整累計額	△1,201	△1,149
その他の包括利益累計額合計	4,691	3,907
非支配株主持分	14,881	14,373
純資産合計	202,735	201,353
負債純資産合計	481,303	474,722

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	122,695	114,189
売上原価	99,570	92,570
売上総利益	23,125	21,619
販売費及び一般管理費	16,104	17,011
営業利益	7,021	4,608
営業外収益		
その他	1,037	969
営業外収益合計	1,037	969
営業外費用		
支払利息	335	311
その他	540	633
営業外費用合計	875	944
経常利益	7,183	4,633
税金等調整前四半期純利益	7,183	4,633
法人税、住民税及び事業税	1,170	526
法人税等調整額	1,057	820
法人税等合計	2,227	1,346
四半期純利益	4,956	3,287
非支配株主に帰属する四半期純利益	190	279
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,766	3,008

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	4,956	3,287
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	△314
繰延ヘッジ損益	161	△81
為替換算調整勘定	△383	△518
退職給付に係る調整額	△26	55
持分法適用会社に対する持分相当額	△274	△24
その他の包括利益合計	△342	△882
四半期包括利益	4,614	2,405
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,453	2,224
非支配株主に係る四半期包括利益	161	181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,795	26,686	41,781	23,433	122,695	—	122,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,430	6,512	3,044	142	22,128	△22,128	—
計	43,225	33,198	44,825	23,575	144,823	△22,128	122,695
セグメント利益	3,167	1,677	2,072	1,028	7,944	△923	7,021

(注) 1. セグメント利益の調整額△923百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アルミナ・ 化成品、 地金	板、 押出製品	加工製品、 関連事業	箔、 粉末製品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,069	25,293	39,036	22,791	114,189	—	114,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,165	6,062	3,071	120	18,418	△18,418	—
計	36,234	31,355	42,107	22,911	132,607	△18,418	114,189
セグメント利益	3,000	398	1,364	757	5,519	△911	4,608

(注) 1. セグメント利益の調整額△911百万円は全社費用であります。その主なものは当社及び日本軽金属㈱の本社の総務、人事、経理等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。